

大府市は、市制50周年を迎えました。

健康都市のレガシーの「継承」と「創造」により新しい大府へと踏み出します。



▲市制施行記念祝賀パレード



大府市議会議長
山本 正和

大府市は、昭和45年に県内で24番目の市として誕生して以来、恵まれた立地条件や自然とのバランスがとれた都市として発展し、その住みよさから人口は年々増加し、この50年で約2倍となるなど大きく成長を続けてまいりました。

本市の誕生から半世紀という、この記念すべき日を迎えることができましたのは、これまで市の発展のためにご尽力された先人の英知とご努力のおかげであり、心から敬意と感謝を申し上げます。

今般、新型コロナウイルス感染症の影響により、先行きが全く見えず、これまでに経験したことのない対応が強いられており、私たちの生活様式も大きく変わろうとしています。この世界的困難に立ち向かい、その先にある大府の明るく希望あふれる未来のために市民の皆さまと一層連携を図り、乗り越えていく覚悟であります。

次なる節目の市制100周年に向けて、これまで築き上げてきたまちの姿を、未来へと引き継いでいけるよう、持続可能なまちづくりのために、自治体の議決機関・監視機関としての責務を全うしてまいります。

また、市民に開かれた議会を目指し、本市のさらなる飛躍と発展に向けて、市民の皆さまとともに議員一丸となって全力で取り組んでまいります。

今後ともご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1970年代



▲第1回産業文化まつり



▲市役所開庁式



▲「健康づくり都市」宣言

1980年代



▲第1回大府シティ健康マラソン



▲桃山公園風車モニュメント完成

1990年代



▲姉妹都市提携調印式

2000年代



▲循環バス運行開始



▲愛知万博「大府市の日」



あの日、あの時、あの場所で。
大府市は

市民とともに歩んだ大府の50年
次の50年に向け、歩み始めています。

2010年代



▲アロープ開館



▲リオデジャネイロ五輪パレード

2020年



▼明神樋門、明神川逆水樋門、国登録有形文化財へ



▼消防署新共長出張所・DAIWA防災学習センター(市防災学習センター)開所



大府市長
岡村 秀人

大府市は、昭和45年9月1日に市制施行して以来、幾多の困難に直面しながらこれを克服し、発展を続け、本年市制50周年という節目の年を迎えることができました。先人たちのためめご努力に敬意を表しますとともに、日頃から市政に対し、多大なるご理解とご協力をいただいております市民の皆さまに深く感謝申し上げます。

本市は、市制施行以来一貫して「健康都市」をまちづくりの基本理念に掲げて着実にまちづくりを進めてきた結果、市制施行時に約4万8000人であった人口は9万3000人を超え、この50年で成熟した都市へと成長いたしました。

本年4月、新たなまちづくりの指針である「第6次大府市総合計画」がスタートいたしました。この計画は、第1次大府市総合計画から掲げる「健康都市」の理念を継承すると同時にこれからの時代に求められる「持続可能」なまちづくりを目指すもので、将来都市像を「いつまでも住み続けたいサステナブル健康都市おおぶ」と定め、未来志向のまちづくりを進めてまいります。

世界は今、新型コロナウイルス感染症による未曾有の危機に直面しており、新たな50年へのスタートの年は厳しい幕開けとなりましたが、今こそ市民の皆さまと団結し、「オール大府」でこの苦難を乗り越え、輝かしい未来を築いてまいりたいと存じますので、皆さまのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。